

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		診療の補助技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年生教室・実習室
担 当 教 員		岡本 智子	実務経験と その関連資格	医療施設で看護師として働いていた。			
《授業科目における学習内容》							
診療に伴う補助の意義を理解し、健康障害をもつ対象の治療・検査・薬物療法(与薬・注射)についての基本的知識技術を学ぶ。身体侵襲を伴う援助であり、原理・原則に基づき、安全、安楽に実施するための知識と技術、態度を学ぶ。 ※シラバスの内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。							
《成績評価の方法と基準》							
出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的評価。筆記試験(60%)課題点(40%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ(医学書院) その他看護技術副読本							
《授業外における学習方法》							
次回授業についての予習を行い授業に望む。演習時は事前学習、演習目標・行動計画の記入を行い、指定日時に提出を行うこと。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。							
《履修に当たっての留意点》							
演習時は、事前学習と演習目標・行動計画の記入を行い、指定期日に提出を行う。これらの提出がないまたは遅延した場合、または内容不十分な場合、および演習時の身だしなみが整っていない場合は演習に参加できない(欠課となる)ので注意しましょう。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	与薬の基礎知識が理解できる		テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)	
		各コマにおける授業予定	与薬の基礎知識、与薬の技術について学ぶ 薬物療法における看護師の役割が理解できる				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な与薬の方法が理解できる		テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)	
		各コマにおける授業予定	経口与薬、外用薬の皮膚・粘膜与薬、口腔内与薬・直腸内与薬・点眼・点耳・経皮的与薬について学ぶ				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な与薬の方法が理解できる		テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)	
		各コマにおける授業予定	経口与薬、外用薬の皮膚・粘膜与薬、口腔内与薬・直腸内与薬・点眼・点耳・経皮的与薬について学ぶ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・検査・処置における技術が理解できる		テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)	
		各コマにおける授業予定	診察の介助・検査の介助について学ぶ				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・検査・処置における技術が理解できる		テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)	
		各コマにおける授業予定	診察の介助・検査の介助について学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	包帯法について理解できる	テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	援助の基礎知識と実際について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	注射の実施法について理解できる	テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	皮下注射、静脈内注射について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	輸血管理について理解できる	実習室にて白衣で実施。シミュレーター、注射器、針、アルコール綿、廃棄ボックス	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	援助の基礎知識と実際について学ぶ		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	皮下注射の実施法について理解できる	テキスト①② パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	皮下注射について学ぶ 演習方法の説明と準備を行う		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	シミュレーターへ安全に皮下注射が実施できる	実習室にて白衣で実施。シミュレーター、注射器、針、アルコール綿、廃棄ボックス	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	清潔に注射器、注射針、アンプルを取り扱い、薬液の準備を行う。 皮下注射の穿刺部位の選定をし、安全に皮下注射が実施できる。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋肉内注射の実施法について理解できる	テキスト①② パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	筋肉内注射について学ぶ 演習方法の説明と準備を行う		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	シミュレーターへ安全に皮下注射が実施できる	実習室にて白衣で実施。シミュレーター、注射器、針、アルコール綿、廃棄ボックス	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	清潔に注射器、注射針、バイアルを取り扱い、薬液の準備を行う。 筋肉内注射の穿刺部位の選定をし、安全に皮下注射が実施できる。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	血液検査の実施法について理解できる	テキスト、パソコン、プロジェクター、スクリーンワークシート(授業中に配布します)	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	血液検査について学ぶ 演習方法の説明と準備を行う		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	シミュレーターへ安全に採血が実施できる	実習室にて白衣で実施。シミュレーター、注射器、針、アルコール綿、廃棄ボックス	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	ホルダー採血を行う		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	シミュレーターへ安全に採血が実施できる	実習室にて白衣で実施。シミュレーター、注射器、針、アルコール綿、廃棄ボックス	事前学習⇒シラバスとテキストを読んでイメージする。(60分) 事後学習⇒ワークシートで本日の講義をまとめて復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	ホルダー採血を行う		